

豪州高配当株 ツインαファンド (毎月分配型)

◆当ファンドの仕組みは次の通りです。

商 品 分 類	追加型投信／海外／資産複合	
信 託 期 間	2012年 8 月31日から2026年 4 月27日まで	
運 用 方 針	安定した配当収入の確保と中長期的な値上がり益の獲得を目指して運用を行います。	
主要運用対象	外国投資信託である「クレディ・スイス・ユニバーサル・トラスト（ケイマン）Ⅱ－豪州高配当株・ツインαファンド」および親投資信託である「T&Dマネープールマザーファンド」を主要投資対象とします。なお、短期金融商品等に直接投資する場合があります。	
	クレディ・スイス・ユニバーサル・トラスト（ケイマン）Ⅱ－豪州高配当株・ツインαファンド	主としてオーストラリアの証券取引所に上場している株式および投資信託証券（不動産投資信託（リート）を含みます。）に投資することにより、安定した配当収入の確保と中長期的な値上がり益の獲得を目指して運用を行います。また、スワップ取引を通じて、実質的に豪州株式市場全体（株価指数等）のオプション取引（コールオプションの売却）および通貨のオプション取引の損益に連動する投資成果の享受を目指します。
	T&Dマネープールマザーファンド	わが国の公社債および短期金融商品を主要投資対象とします。
組 入 制 限	投資信託証券への投資割合には制限を設けません。外貨建資産への直接投資は行いません。株式への直接投資は行いません。	
分 配 方 針	毎決算時（毎月25日、休業日の場合は翌営業日）に分配を行います。ただし、必ず分配を行うものではありません。分配金額は、分配対象額の範囲内で委託会社が決定するものとし、原則として、インカム収益を中心に分配を行うことを目指します。ただし、基準価額水準等によっては、売買益（評価益を含みます。）が中心となる場合があります。	

運用報告書（全体版）（第20作成期）

第113期（2022年 2 月25日） 第116期（2022年 5 月25日）
第114期（2022年 3 月25日） 第117期（2022年 6 月27日）
第115期（2022年 4 月25日） 第118期（2022年 7 月25日）

お客様へ

毎々格別のお引立てにあずかり厚く御礼申し上げます。

さて、「豪州高配当株ツインαファンド（毎月分配型）」は、2022年 7 月25日に第118期決算を行いましたので、第113期から第118期の運用状況をご報告申し上げます。

今後ともより一層のご愛顧を賜りますようお願い申し上げます。

 **T&Dアセットマネジメント株式会社**

〒108-0014 東京都港区芝 5-36-7

お問い合わせ先

投信営業部 03-6722-4810

（受付時間：営業日の午前 9 時～午後 5 時）

<https://www.tdasset.co.jp/>

最近 5 作成期の運用実績、基準価額の推移等

最近 5 作成期の運用実績

決 算 期		基 準 価 額			債 組 入 比 率	債 先 物 比 率	クレディ・スイス・ユニバーサル・トラスト(ケイマン)Ⅱ-豪州高配当株・ツインαファンド組入比率	純 資 産 額
		(分配落)	税込み 分配金	期 中 騰落率				
第 16 作成期	89期 (2020年 2 月25日)	円 1,973	円 35	% △ 0.0	% —	% —	% 99.2	百万円 4,708
	90期 (2020年 3 月25日)	1,131	35	△40.9	—	—	98.7	2,637
	91期 (2020年 4 月27日)	1,275	35	15.8	—	—	99.0	2,972
	92期 (2020年 5 月25日)	1,326	35	6.7	—	—	99.0	3,098
	93期 (2020年 6 月25日)	1,324	35	2.5	—	—	98.9	3,211
	94期 (2020年 7 月27日)	1,320	35	2.3	—	—	98.9	3,228
第 17 作成期	95期 (2020年 8 月25日)	1,313	35	2.1	—	—	98.7	3,170
	96期 (2020年 9 月25日)	1,219	35	△ 4.5	—	—	98.9	2,901
	97期 (2020年10月26日)	1,270	25	6.2	—	—	99.1	3,010
	98期 (2020年11月25日)	1,364	25	9.4	—	—	99.0	3,070
	99期 (2020年12月25日)	1,346	25	0.5	—	—	98.9	2,947
	100期 (2021年 1 月25日)	1,366	25	3.3	—	—	98.8	2,998
第 18 作成期	101期 (2021年 2 月25日)	1,389	25	3.5	—	—	99.0	3,029
	102期 (2021年 3 月25日)	1,407	25	3.1	—	—	99.0	3,002
	103期 (2021年 4 月26日)	1,410	25	2.0	—	—	99.0	3,028
	104期 (2021年 5 月25日)	1,411	25	1.8	—	—	99.0	2,966
	105期 (2021年 6 月25日)	1,413	25	1.9	—	—	99.1	2,938
	106期 (2021年 7 月26日)	1,360	25	△ 2.0	—	—	99.2	2,786
第 19 作成期	107期 (2021年 8 月25日)	1,375	25	2.9	—	—	99.0	2,820
	108期 (2021年 9 月27日)	1,344	25	△ 0.4	—	—	98.9	2,690
	109期 (2021年10月25日)	1,388	25	5.1	—	—	99.1	2,706
	110期 (2021年11月25日)	1,367	25	0.3	—	—	99.1	2,596
	111期 (2021年12月27日)	1,336	25	△ 0.4	—	—	98.1	2,501
	112期 (2022年 1 月25日)	1,284	25	△ 2.0	—	—	98.9	2,443
第 20 作成期	113期 (2022年 2 月25日)	1,317	25	4.5	—	—	98.9	2,528
	114期 (2022年 3 月25日)	1,363	25	5.4	—	—	98.9	2,757
	115期 (2022年 4 月25日)	1,390	25	3.8	—	—	98.2	2,805
	116期 (2022年 5 月25日)	1,279	25	△ 6.2	—	—	98.7	2,920
	117期 (2022年 6 月27日)	1,226	25	△ 2.2	—	—	98.7	3,075
	118期 (2022年 7 月25日)	1,245	25	3.6	—	—	98.7	3,212

(注) 基準価額および分配金は 1 万口当たり。基準価額の騰落率は分配金込み。

(注) 当ファンドは親投資信託を組入れますので、債券組入比率および債券先物比率は実質比率を記載しております。

(注) 先物比率＝買建比率－売建比率

(注) 当ファンドは豪州高配当株とオプション取引を組合わせた運用を行っており、比較対象として適切な指数がないため、ベンチマークおよび参考指数を設定しておりません。

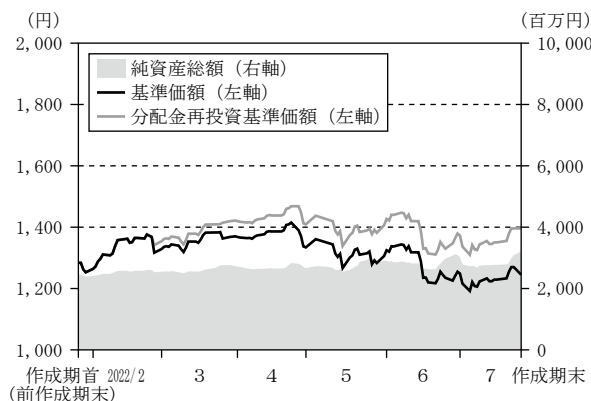
当作成期中の基準価額等の推移

決算期	年 月 日	基 準 価 額		債 組 入 比 率	債 先 物 比 率	クレディ・スイス・ユニバーサル・トラスト（ケイマン）II-豪州高配当株・ツインαファンド組 入 比 率
			騰 落 率			
第113期	期 首（前期末） 2022年 1 月25日	円 1, 284	% —	% —	% —	% 98.9
	1 月末	1, 264	△1. 6	—	—	98. 7
	期 末 2022年 2 月25日	1, 342	4. 5	—	—	98. 9
第114期	期 首（前期末） 2022年 2 月25日	1, 317	—	—	—	98. 9
	2 月末	1, 329	0. 9	—	—	99. 1
	期 末 2022年 3 月25日	1, 388	5. 4	—	—	98. 9
第115期	期 首（前期末） 2022年 3 月25日	1, 363	—	—	—	98. 9
	3 月末	1, 368	0. 4	—	—	99. 0
	期 末 2022年 4 月25日	1, 415	3. 8	—	—	98. 2
第116期	期 首（前期末） 2022年 4 月25日	1, 390	—	—	—	98. 2
	4 月末	1, 334	△4. 0	—	—	98. 8
	期 末 2022年 5 月25日	1, 304	△6. 2	—	—	98. 7
第117期	期 首（前期末） 2022年 5 月25日	1, 279	—	—	—	98. 7
	5 月末	1, 325	3. 6	—	—	99. 0
	期 末 2022年 6 月27日	1, 251	△2. 2	—	—	98. 7
第118期	期 首（前期末） 2022年 6 月27日	1, 226	—	—	—	98. 7
	6 月末	1, 249	1. 9	—	—	99. 0
	期 末 2022年 7 月25日	1, 270	3. 6	—	—	98. 7

(注) 基準価額は1万円当たり。期末基準価額は分配金込み。騰落率は期首比。
(注) 当ファンドは親投資信託を組入れますので、債券組入比率および債券先物比率は実質比率を記載しております。
(注) 先物比率＝買建比率－売建比率
(注) 当ファンドは豪州高配当株とオプション取引を組合わせた運用を行っており、比較対象として適切な指数がないため、ベンチマークおよび参考指数を設定しておりません。

当作成期の運用状況と今後の運用方針

■ 基準価額等の推移



第113期首：1,284円

第118期末：1,245円（既払分配金150円）

騰落率：8.7%（分配金再投資ベース）

（注）分配金再投資基準価額は、作成期首（2022年1月25日）の値が基準価額と同一となるように指数化しています。

（注）分配金再投資基準価額は、収益分配金（税込み）を分配時に再投資したものとみなして計算したもので、ファンド運用の実質的なパフォーマンスを示すものです。

（注）分配金を再投資するかどうかについてはお客様がご利用のコースにより異なります。また、ファンドの購入価額により課税条件も異なります。したがって、お客様の損益の状況を示すものではありません。

■ 基準価額の主な変動要因

高位に組入れている外国投資信託において、豪ドルが円に対し上昇したことなどがプラス寄与した結果、基準価額（分配金再投資ベース）は上昇しました。

■ 組入ファンドの当作成期中の騰落率

組入ファンド	騰落率
クレディ・スイス・ユニバーサル・トラスト (ケイマン) II-豪州高配当株・ツインαファンド	9.6%
T&Dマネーブルマザーファンド	△0.0

■ 投資環境

【オーストラリア株式市況】

オーストラリア株式市場は下落しました。作成期初から2022年4月中旬にかけては、RBA（オーストラリア準備銀行）が利上げに対し慎重な姿勢を示したこと、2021年10-12月期GDP成長率が市場予想を上回ったこと、ウクライナ情勢をめぐるロシアへの制裁の強化に伴う原油をはじめとした国際商品価格の上昇などが好材料となって、株価は概ね上昇基調で推移しました。しかしその後は、米欧の積極的な金融引締め政策やウクライナ情勢長期化への警戒感などを背景に、世界的な株安となるなかオーストラリア株式市場も下落しました。5月から6月中旬にかけては、RBAが市場予想を上回る利上げを決定するとともに一段の金融引締めを示唆したことが嫌気されたほか、米国のCPI（消費者物価指数）が市場予想を上回り、FRB（米連邦準備制度理事会）が利上げを加速するとの警戒感が強まったことなどから、株価は大幅に下落しました。作成期末にかけては、オーストラリアの貿易や雇用関連の経済指標の堅調さや、米国長期金利の上昇が落ち着きをみせたことなどを材料に、株価は緩やかながらも上昇しました。

【為替市況】

豪ドルは対円で上昇しました。2022年2月のRBA理事会において債券購入プログラムの終了が決定されたことや、ロウRBA総裁が年内に利上げを実施する可能性を示唆したことなどが豪ドルの買い材料となりました。また、オーストラリアの主要輸出品目であるLNG（液化天然ガス）をはじめとした国際商品価格の高騰が長期化するとの見通しを背景に、日本の経常収支悪化が懸念される一方、オーストラリアが商品の主要輸出国として恩恵を受けるとの見方などから、円安豪ドル高が進行しました。5月には、RBAが市場予想を上回る利上げを決定したこと、豪雇用統計で失業率が歴史的な低水準となったこと、4月の豪小売売上高が過去最高水準となったことなどを受けて、豪ドルは円に対し上昇しました。6月には、2022年1－3月期GDP成長率が市場予想を上回ったこと、4月の豪貿易収支で貿易黒字の予想以上の拡大が示されたこと、RBAが市場予想を上回る0.50%の利上げを決定したことなどが豪ドルの買い材料となりました。その後も、日銀が大規模金融緩和の維持を決定したことを受けて、オーストラリアと日本の金利差の拡大が改めて意識されるなか、豪ドル高円安基調で推移しました。

【国内短期金融市況】

国庫短期証券3ヵ月物利回りは、作成期首の $\Delta 0.10\%$ から作成期末は $\Delta 0.15\%$ となりました。作成期中においては、国庫短期証券の入札に伴う需給悪化懸念などが金利上昇要因となり、日銀の買入オペや金融機関の担保需要などが金利低下要因となりました。

■ 当該投資信託のポートフォリオ

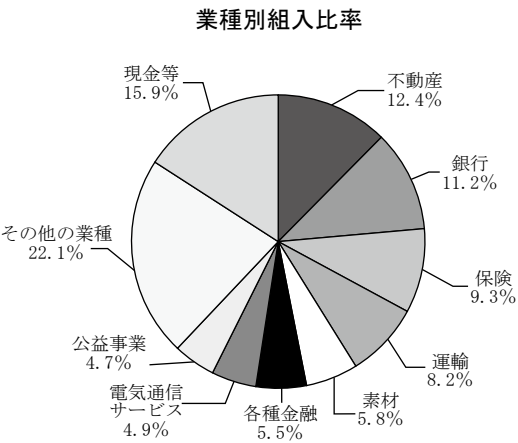
【当ファンド】

作成期を通じて、「クレディ・スイス・ユニバーサル・トラスト（ケイマン）Ⅱ－豪州高配当株・ツインαファンド」を概ね高位に組入れ、「T&Dマネープールマザーファンド」にも投資を行いました。

【クレディ・スイス・ユニバーサル・トラスト（ケイマン）Ⅱ－豪州高配当株・ツインαファンド】

主としてオーストラリアの高配当株式および投資信託証券（不動産投資信託（リート）を含む）への投資を行うと同時に、スワップ取引を通じて、オーストラリア株式市場全体（株価指数等）にかかるコールオプションを売却する「株式オプションα戦略」および、円に対する豪ドルのコールオプションを売却する「通貨オプションα戦略」を組合わせた運用を行いました。

＜クレディ・スイス・ユニバーサル・トラスト（ケイマン）Ⅱ－豪州高配当株・ツインαファンドの組入状況＞
2022年6月30日現在（現地基準）



組入上位10銘柄			
	銘柄名	業種	比率
1	TELSTRA CORP LTD	電気通信サービス	4.9%
2	AURIZON HOLDINGS LTD	運輸	4.0
3	AUST AND NZ BANKING GROUP	銀行	4.0
4	MEDIBANK PRIVATE LTD	保険	3.9
5	SCENTRE GROUP	不動産	3.5
6	WOODSIDE ENERGY GROUP LTD	エネルギー	3.5
7	VICINITY CENTRES	不動産	3.2
8	APA GROUP	公益事業	2.6
9	NATIONAL AUSTRALIA BANK LTD	銀行	2.6
10	SUNCORP GROUP LTD	保険	2.5

(注) 比率は、投資対象ファンドの純資産総額に対する比率（リートを含む）です。
(注) 組入状況は、ザ・バンク・オブ・ニューヨーク・メロン（シンガポール支店）より入手したデータをもとに当社が作成したものです。
(注) 現金等は、未払金等が多い場合、マイナスになることがあります。

【T & Dマネープールマザーファンド】

国庫短期証券の利回りがマイナスで推移したため組入れを見送り、作成期を通じて組入比率は0%としました。資産については、全額コールローン等で運用を行いました。

■ 当該投資信託のベンチマークとの差異

当ファンドはベンチマークおよび参考指数がないため、本項目は記載しておりません。

■ 分配金

1万口当たりの分配金（税込み）は、分配可能額、基準価額水準等を勘案し、第113期から第118期まで各25円とさせていただきました。収益分配に充てなかった利益は、信託財産中に留保し、運用の基本方針に基づいて運用いたします。

■ 今後の運用方針

【当ファンド】

主要投資対象である「クレディ・スイス・ユニバーサル・トラスト（ケイマン）Ⅱ－豪州高配当株・ツイン α ファンド」への投資比率を高位に保ち、もう一方の投資対象である「T & Dマネープールマザーファンド」への投資も継続する方針です。

【クレディ・スイス・ユニバーサル・トラスト（ケイマン）Ⅱ－豪州高配当株・ツイン α ファンド】

主としてオーストラリアの高配当株式および投資信託証券（不動産投資信託（リート）を含む）に投資することにより、安定した配当収入の確保と中長期的な値上がり益の獲得を目指して運用を行います。また、スワップ取引を通じて、「株式オプション α 戦略」および「為替オプション α 戦略」を活用し、引続き年率15%の目標オプション料（プレミアム収入）の獲得を目指します。

【T & Dマネープールマザーファンド】

日本経済は、国内外における新型コロナウイルスの流行の影響により、持ち直しの動きに弱さがみられます。インフレ率については、プラス圏で推移していくと予想されます。こうしたなか、日銀の「長短金利操作付き量的・質的金融緩和」が金利抑制要因として作用することから、国内金利は低位で推移すると予想します。

相対的に金利リスクの高い長期債への投資は見送り、国庫短期証券や短期金融商品等を中心とした安定的な運用を行います。

1 万口当たりの費用明細 (2022年 1 月 26日から2022年 7 月 25日まで)

費用の明細

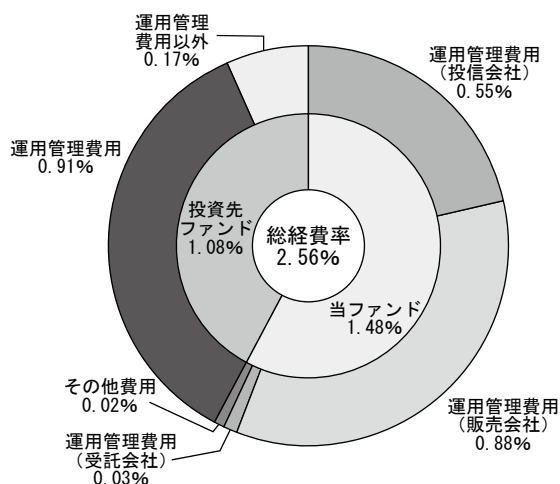
項目	第113期～第118期		項目の概要
	2022/ 1 / 26～2022/ 7 / 25		
	金額	比率	
平均基準価額	1,311円		作成期間の平均基準価額です。
(a) 信託報酬 （投信会社） （販売会社） （受託会社）	10円 （ 4 ） （ 6 ） （ 0 ）	0.725% (0.273) (0.436) (0.016)	(a) 信託報酬＝作成期間の平均基準価額×信託報酬率 委託した資金の運用の対価 購入後の情報提供、運用報告書等各種書類の送付、口座内での ファンドの管理等の対価 運用財産の保管および管理、投信会社からの指図の実行等の対価
(b) 売買委託手数料 （投資信託証券）	1 （ 1 ）	0.087 (0.087)	(b) 売買委託手数料＝作成期間の売買委託手数料／作成期間の平均受益権口数 売買委託手数料は、有価証券等の売買の際、売買仲介人に支払う手数料
(c) その他費用 （監査費用）	0 （ 0 ）	0.008 (0.008)	(c) その他費用＝作成期間のその他費用／作成期間の平均受益権口数 監査費用は、監査法人等に支払うファンドの監査に係る費用
合計	11	0.820	

- (注) 作成期間の費用（消費税等のかかるものは消費税等を含む）は、追加・解約により受益権口数に変動があるため、簡便法により算出した結果です。
- (注) 平均基準価額の円未満は切捨て、それ以外の各金額は項目ごとに四捨五入してあります。
- (注) 各項目の費用は、当ファンドが組入れている投資信託証券（親投資信託を除く。）が支払った費用を含みません。
- (注) 「比率」欄は1万口当たりのそれぞれの費用金額（円未満の端数を含む）を作成期間の平均基準価額で除して100を乗じたもので、項目ごとに小数第3位未満は四捨五入してあります。

(参考情報)

■ 総経費率

当作成期中の運用・管理にかかった費用の総額（原則として、募集手数料、売買委託手数料および有価証券取引税を除く。）を作成期中の平均受益権口数に作成期中の平均基準価額（1口当たり）を乗じた数で除した総経費率（年率）は、2.56%です。



総経費率 (①+②+③)	2.56%
①当ファンドの費用の比率	1.48%
②投資先ファンドの運用管理費用の比率	0.91%
③投資先ファンドの運用管理費用以外の比率	0.17%

- (注) ①の費用は、1万口当たりの費用明細において用いた簡便法により算出したものです。
- (注) 各費用は、原則として、募集手数料、売買委託手数料および有価証券取引税を含みません。
- (注) 各比率は、年率換算した値です。
- (注) 投資先ファンドとは、当ファンドが組入れている投資信託証券（親投資信託を除く）です。
- (注) ①の費用は、親投資信託が支払った費用を含み、投資先ファンドが支払った費用を含みません。
- (注) ①の費用と②③の費用は、計上された期間が異なる場合があります。
- (注) 上記の前提条件で算出したものです。このため、これらの値はあくまでも参考であり、実際に発生した費用の比率とは異なります。

売買および取引の状況（2022年1月26日から2022年7月25日まで）

(1) 投資信託証券

		第 113 期 ～ 第 118 期			
		買 付		売 付	
		口 数	金 額	口 数	金 額
		口	千円	口	千円
外 国 (邦貨建)	クレディ・スイス・ユニバーサル・トラスト (ケイマン) II-豪州高配当株・ツインαファンド	1,267,062	1,605,000	613,675	784,635

(注) 金額は受渡代金。単位未満は切捨て。

(2) 親投資信託受益証券の設定、解約状況

当作成期における設定、解約はありません。

利害関係人との取引状況等（2022年1月26日から2022年7月25日まで）

当作成期における利害関係人との取引はありません。

(注) 利害関係人とは、投資信託及び投資法人に関する法律第11条第1項に規定される利害関係人です。

組入資産の明細（2022年7月25日現在）

(1) ファンド・オブ・ファンズが組入れた邦貨建ファンドの明細

フ ァ ン ド 名	前作成期末 (第112期末)	当 作 成 期 末 (第 118 期 末)		
	口 数	口 数	評 価 額	比 率
	口	口	千円	%
クレディ・スイス・ユニバーサル・トラスト (ケイマン) II-豪州高配当株・ツインαファンド	1, 895, 554	2, 548, 940	3, 172, 488	98. 7

(注) 比率は純資産総額に対する評価額の比率。

(注) 口数・評価額の単位未満は切捨て。

(2) 親投資信託残高

種 類	前 作 成 期 末 (第 112 期 末)	当 作 成 期 末 (第 118 期 末)	
	口 数	口 数	評 価 額
	千口	千口	千円
T & D マネープールマザーファンド	9, 718	9, 718	9, 856

(注) T & D マネープールマザーファンド全体の受益権口数は372, 872千口です。

(注) 単位未満は切捨て。

投資信託財産の構成（2022年7月25日現在）

項 目	当 作 成 期 末 (第 118 期 末)	
	評 価 額	比 率
	千円	%
クレディ・スイス・ユニバーサル・トラスト (ケイマン) II-豪州高配当株・ツインαファンド	3, 172, 488	89. 2
T & D マネープールマザーファンド	9, 856	0. 3
コ ー ル ・ ロ ー ン 等 、 そ の 他	374, 107	10. 5
投 資 信 託 財 産 総 額	3, 556, 451	100. 0

(注) 評価額の単位未満は切捨て。

資産、負債、元本および基準価額ならびに損益の状況

資産、負債、元本および基準価額の状況

2022年2月25日現在 2022年3月25日現在 2022年4月25日現在 2022年5月25日現在 2022年6月27日現在 2022年7月25日現在

項 目	第113期末	第114期末	第115期末	第116期末	第117期末	第118期末
(A) 資産	2,615,639,577円	2,903,656,243円	3,012,605,837円	3,057,794,728円	3,342,566,907円	3,556,451,538円
コ ー ル ・ ロ ー ン 等	103,636,506	167,627,140	248,379,290	165,921,080	296,883,735	374,106,461
クレディ・スイス・ユニバーサル・ トラスト(ケイマン)Ⅱ-豪州高配当株・ ツインαファンド(評価額)	2,502,144,138	2,726,170,170	2,754,367,614	2,882,015,687	3,035,825,211	3,172,488,088
T&Dマネーボールマザーファンド(評価額)	9,858,933	9,858,933	9,858,933	9,857,961	9,857,961	9,856,989
(B) 負債	86,780,560	146,380,030	207,447,266	136,802,700	266,676,363	343,680,892
未 払 金	30,000,000	75,000,000	119,000,000	63,000,000	199,000,000	267,000,000
未 払 収 益 分 配 金	48,021,973	50,555,903	50,448,385	57,103,361	62,747,362	64,508,898
未 払 解 約 金	5,603,817	17,902,922	34,608,001	13,401,632	1,149,576	8,939,593
未 払 信 託 報 酬	3,121,765	2,890,619	3,355,272	3,263,147	3,739,577	3,198,375
未 払 信 託 報 息	155	167	298	220	537	368
そ の 他 未 払 費 用	32,850	30,419	35,310	34,340	39,351	33,658
(C) 純 資 産 総 額 (A - B)	2,528,859,017	2,757,276,213	2,805,158,571	2,920,992,028	3,075,890,544	3,212,770,646
元 本	19,208,789,306	20,222,361,351	20,179,354,303	22,841,344,490	25,098,945,174	25,803,559,586
次 期 繰 越 損 益 金	△16,679,930,289	△17,465,085,138	△17,374,195,732	△19,920,352,462	△22,023,054,630	△22,590,788,940
(D) 受 益 権 総 口 数	19,208,789,306口	20,222,361,351口	20,179,354,303口	22,841,344,490口	25,098,945,174口	25,803,559,586口
1万口当たり基準価額(C/D)	1,317円	1,363円	1,390円	1,279円	1,226円	1,245円

(注) 当ファンドの第113期首元本額は19,030,056,455円、第113～118期中追加設定元本額は16,738,149,434円、第113～118期中一部解約元本額は9,964,646,303円です。

(注) 元本の欠損

第118期末現在、純資産総額は元本を下回っており、その差額は22,590,788,940円です。

(注) 第118期末の1口当たり純資産額は0.1245円です。

損益の状況

自2022年1月26日 自2022年2月26日 自2022年3月26日 自2022年4月26日 自2022年5月26日 自2022年6月28日
至2022年2月25日 至2022年3月25日 至2022年4月25日 至2022年5月25日 至2022年6月27日 至2022年7月25日

項 目	第113期	第114期	第115期	第116期	第117期	第118期
(A) 配 当 等 収 益	47,032,437円	46,735,225円	47,029,027円	49,135,699円	52,877,924円	55,277,117円
受 取 配 当 金	47,034,095	46,736,900	47,031,622	49,139,438	52,883,661	55,281,404
受 取 利 息	47	50	109	-	96	-
支 払 利 息	△ 1,705	△ 1,725	△ 2,704	△ 3,739	△ 5,833	△ 4,287
(B) 有 価 証 券 売 買 損 益	62,896,552	91,631,832	54,419,460	△ 218,407,243	△ 107,373,942	49,529,547
売 買 益	63,884,769	92,885,009	54,802,638	5,814,476	4,800,654	55,482,099
売 買 損	△ 988,217	△ 1,253,177	△ 383,178	△ 224,221,719	△ 112,174,596	△ 5,952,552
(C) 信 託 報 酬 等	△ 3,154,615	△ 2,921,038	△ 3,390,582	△ 3,297,487	△ 3,778,888	△ 3,232,033
(D) 当 期 損 益 金 (A + B + C)	106,774,374	135,446,019	98,057,905	△ 172,569,031	△ 58,274,906	101,574,631
(E) 前 期 繰 越 損 益 金	△ 5,727,444,803	△ 5,471,694,410	△ 4,877,984,808	△ 4,579,429,060	△ 4,336,776,424	△ 3,817,591,437
(F) 追 加 信 託 差 損 益 金	△11,011,237,887	△12,078,280,844	△12,543,820,444	△15,111,251,010	△17,565,255,938	△18,810,263,236
(配 当 等 相 当 額)	(2,171,318,434)	(2,286,976,313)	(2,280,496,855)	(2,582,898,959)	(2,834,641,208)	(2,908,361,238)
(売 買 損 益 相 当 額)	(△13,182,556,321)	(△14,365,257,157)	(△14,824,317,299)	(△17,694,149,969)	(△20,399,897,146)	(△21,718,624,474)
(G) 合 計 (D + E + F)	△16,631,908,316	△17,414,529,235	△17,323,747,347	△19,863,249,101	△21,960,307,268	△22,526,280,042
(H) 収 益 分 配 金	△ 48,021,973	△ 50,555,903	△ 50,448,385	△ 57,103,361	△ 62,747,362	△ 64,508,898
次 期 繰 越 損 益 金 (G + H)	△16,679,930,289	△17,465,085,138	△17,374,195,732	△19,920,352,462	△22,023,054,630	△22,590,788,940
追 加 信 託 差 損 益 金	△11,013,576,967	△12,083,088,249	△12,548,811,676	△15,122,516,159	△17,578,904,264	△18,821,199,591
(配 当 等 相 当 額)	(2,168,979,345)	(2,282,168,908)	(2,275,505,623)	(2,571,633,810)	(2,820,992,882)	(2,897,424,883)
(売 買 損 益 相 当 額)	(△13,182,556,321)	(△14,365,257,157)	(△14,824,317,299)	(△17,694,149,969)	(△20,399,897,146)	(△21,718,624,474)
繰 越 損 益 金	△ 5,666,353,322	△ 5,381,996,889	△ 4,825,384,056	△ 4,797,836,303	△ 4,444,150,366	△ 3,769,589,349

(注) 損益の状況の中で

(B) 有価証券売買損益は、各期末の評価換えによるものを含みます。

(C) 信託報酬等には、信託報酬に対する消費税等相当額を含めて表示しています。

(F) 追加信託差損益金とあるのは、信託の追加設定の際、追加設定をした価額から元本を差引いた差額分をいいます。

分配金の計算過程

【第113期】
計算期間末における費用控除後の配当等収益（45,682,893円）、費用控除後の有価証券売買等損益（0円）および収益調整金（2,171,318,434円）より、分配対象収益は2,217,001,327円（1万円当たり1,154円）であり、うち48,021,973円（1万円当たり25円）を分配金額としております。

【第114期】
計算期間末における費用控除後の配当等収益（45,748,498円）、費用控除後の有価証券売買等損益（0円）および収益調整金（2,286,976,313円）より、分配対象収益は2,332,724,811円（1万円当たり1,153円）であり、うち50,555,903円（1万円当たり25円）を分配金額としております。

【第115期】
計算期間末における費用控除後の配当等収益（45,457,153円）、費用控除後の有価証券売買等損益（0円）および収益調整金（2,280,496,855円）より、分配対象収益は2,325,954,008円（1万円当たり1,152円）であり、うち50,448,385円（1万円当たり25円）を分配金額としております。

【第116期】
計算期間末における費用控除後の配当等収益（45,838,212円）、費用控除後の有価証券売買等損益（0円）および収益調整金（2,582,898,959円）より、分配対象収益は2,628,737,171円（1万円当たり1,150円）であり、うち57,103,361円（1万円当たり25円）を分配金額としております。

【第117期】
計算期間末における費用控除後の配当等収益（49,099,036円）、費用控除後の有価証券売買等損益（0円）および収益調整金（2,834,641,208円）より、分配対象収益は2,883,740,244円（1万円当たり1,148円）であり、うち62,747,362円（1万円当たり25円）を分配金額としております。

【第118期】
計算期間末における費用控除後の配当等収益（53,572,543円）、費用控除後の有価証券売買等損益（0円）および収益調整金（2,908,361,238円）より、分配対象収益は2,961,933,781円（1万円当たり1,147円）であり、うち64,508,898円（1万円当たり25円）を分配金額としております。

分配金のご案内

分配金および分配原資の内訳 (単位：円・％、1万円当たり・税引前)

項目	第113期	第114期	第115期	第116期	第117期	第118期
	2022年1月26日 ～2022年2月25日	2022年2月26日 ～2022年3月25日	2022年3月26日 ～2022年4月25日	2022年4月26日 ～2022年5月25日	2022年5月26日 ～2022年6月27日	2022年6月28日 ～2022年7月25日
当期分配金	25	25	25	25	25	25
（対基準価額比率）	1.863	1.801	1.767	1.917	1.998	1.969
当期の収益	23	22	22	20	19	20
当期の収益以外	1	2	2	4	5	4
翌期繰越分配対象額	1,129	1,128	1,127	1,125	1,123	1,122

(注) 対基準価額比率は当期分配金（税込み）の期末基準価額（分配金込み）に対する比率で、ファンドの収益率とは異なります。
(注) 当期の収益、当期の収益以外は小数点以下四捨五入して算出しているため合計が当期分配金と一致しない場合があります。
(注) 投資信託の計理上、翌期繰越分配対象額が基準価額を上回っている場合がありますが、基準価額を超える分配金をお支払いすることはありません。

※分配落ち後の基準価額が個別元本と同額または上回る場合、分配金は全額普通分配金となります。
※分配前の基準価額が個別元本を上回り、分配後の基準価額が個別元本を下回る場合、分配金は個別元本を上回る部分が普通分配金、下回る部分が元本払戻金（特別分配金）となります。
※分配前の基準価額が個別元本と同額または下回る場合、分配金は全額元本払戻金（特別分配金）となります。
※元本払戻金（特別分配金）が発生した場合は、個別元本から元本払戻金（特別分配金）を控除した額がその後の新たな個別元本となります。

《お知らせ》

2022年4月26日適用で、信託期間を延長し、信託終了日を2023年4月25日から2026年4月27日とするよう約款変更を行いました。

補足情報

T & D マネープールマザーファンドにおける主要な売買銘柄

当作成期における売買はありません。

T & D マネープールマザーファンドの組入資産の明細

当作成期末における組入れはありません。

組入投資信託証券の内容

クレディ・スイス・ユニバーサル・トラスト（ケイマン）Ⅱ－豪州高配当株・ツインαファンド

◆当ファンドの仕組みは次の通りです。

分 類	ケイマン籍／外国投資信託／円建
基本運用方針	主としてオーストラリアの証券取引所に上場している株式および投資信託証券（不動産投資信託（リート）を含みます。）に投資することにより、安定した配当収入の確保と中長期的な値上がり益の獲得を目指して運用を行います。 また、スワップ取引を通じて、実質的に豪州株式市場全体（株価指数等）のオプション取引（コールオプションの売却）および通貨のオプション取引の損益に連動する投資成果の享受を目指します。
投資態度	〔高配当株投資〕 - 主としてオーストラリアの証券取引所に上場している株式および投資信託証券（不動産投資信託（リート）を含みます。）に投資を行います。 - 主に配当利回りに着目し、相対的に配当利回りの高い銘柄を中心に投資します。 - 組入外貨建資産については、原則として為替ヘッジを行いません。 〔株式オプションα戦略・通貨オプションα戦略〕 - スワップ取引を通じて、実質的に豪州株価指数等*を対象としたオプション取引の損益に連動する投資成果の享受を目指します。 *市場環境によっては、豪州株保有銘柄を対象とする場合があります。 - スワップ取引を通じて、実質的に豪ドル（対円）を対象としたオプション取引の損益に連動する投資成果の享受を目指します。 - 原則として概ね保有する豪ドル建資産の評価額程度のコールオプションの売却を行います。 ※資金動向や市況動向等によっては、上記のような運用が行われない場合があります。
主な投資制限	転換社債、ワラントへの投資は行いません。 同一発行体への投資割合は、原則として、純資産総額の10%以下とします。 同一業種への投資割合は、原則として、純資産総額の35%以下とします。
分配方針	原則として、毎月分配を行います。
投資顧問会社	クレディ・スイス・マネジメント（ケイマン）リミテッド（各オプションα戦略の運用）
副投資顧問会社	フランクリン・テンブルトン・オーストラリア・リミテッド*（豪州高配当株の運用） ※フランクリン・テンブルトン・オーストラリア・リミテッドの株式運用部門は、マーティン・カリー・オーストラリアのブランド名で事業活動を行っています。

※次ページ以降の記載は、バンクオブニューヨークメロン証券株式会社およびザ・バンク・オブ・ニューヨーク・メロン（シンガポール支店）より入手した情報をもとに作成しております。(1)は監査済報告書を当社が一部翻訳したもの、(2)は保有明細をもとに当社が作成したものです。当社は、その内容の正確性・完全性を保証するものではありません。

(1) 損益計算書

計算期間：2021年2月1日～2022年1月31日

単位：円

収益

受取配当金	130,435,024
受取利息	18,663
スワップ取引に係る収益・費用	195,052,451
投資に係る純損益	249,898,165
投資純損益	<u>575,404,303</u>
その他収益	948,456
外国為替取引に係る純損益	(2,379,711)
収益合計	<u>573,973,048</u>

費用

投資顧問料	13,827,961
その他費用	4,745,080
取引手数料	948,456
管理・保管費用	10,376,576
事務代行手数料	981,298
運用報酬	523,410
運用費用合計	<u>31,402,781</u>
税引前損益	542,570,267
源泉徴収税	(5,582,659)

期中の純資産変動

536,987,608

(注) 日付は現地基準です。

(注) () 書きは負数です。

(2) 組入資産の明細

作成基準日：2022年1月31日

1. 株式現物

銘柄名	株数	評価額	業種
	株	円	
MEDIBANK PRIVATE LTD	321,018	80,528,139	保険
AGL ENERGY LTD	68,398	39,424,079	公益事業
SOUTH32 LTD	97,329	30,420,251	素材
VICINITY CENTRES	501,722	66,391,205	不動産
COLES GROUP LTD	39,164	51,506,478	食品・生活必需品小売り
ATLAS ARTERIA	74,778	39,519,791	運輸
INGHAMS GROUP LTD	92,649	24,670,297	食品・飲料・タバコ
AUST AND NZ BANKING GROUP	53,815	115,904,526	銀行
WESTPAC BANKING CORP	36,496	60,145,218	銀行
TELSTRA CORP LTD	359,968	114,553,869	電気通信サービス
BENDIGO AND ADELAIDE BANK	32,868	22,893,931	銀行
ASX LTD	3,079	20,794,123	各種金融
BHP GROUP LTD	28,876	108,654,213	素材
HARVEY NORMAN HOLDINGS LTD	186,820	74,467,138	小売
TRANSURBAN GROUP	33,447	33,805,419	運輸
COMMONWEALTH BANK OF AUSTRALIA	5,865	44,632,660	銀行
CHARTER HALL RETAIL REIT	74,522	24,259,881	不動産
APA GROUP	59,100	45,867,511	公益事業
INSURANCE AUSTRALIA GROUP	82,135	28,271,830	保険
G. U. D. HOLDINGS LTD	34,761	34,794,864	自動車・自動車部品
GPT GROUP	98,616	39,949,167	不動産
GWA GROUP LTD	73,803	15,158,434	資本財
SUNCORP GROUP LTD	85,648	76,761,968	保険
NATIONAL AUSTRALIA BANK LTD	35,760	78,760,253	銀行
JB HI-FI LTD	16,637	62,115,248	小売
INSIGNIA FINANCIAL LTD	157,029	44,745,234	各種金融
QBE INSURANCE GROUP LTD	28,102	25,391,724	保険
STOCKLAND	198,428	65,079,487	不動産
TABCORP HOLDINGS LTD	73,874	29,506,420	消費者サービス
WESFARMERS LTD	8,265	35,366,792	小売
ALUMINA LTD	360,607	55,183,000	素材
WOODSIDE PETROLEUM LTD	25,055	50,992,763	エネルギー
WOOLWORTHS GROUP LTD	11,300	31,575,418	食品・生活必需品小売り
SUPER RETAIL GROUP LTD	15,621	14,748,517	小売
DEXUS/AU	18,309	15,235,205	不動産
MACQUARIE GROUP LTD	3,752	55,929,716	各種金融
AURIZON HOLDINGS LTD	273,846	78,254,418	運輸
SHOPPING CENTRES AUSTRALASIA	139,927	31,920,350	不動産
STAR ENTERTAINMENT GRP LTD/T	114,128	31,594,129	消費者サービス
PENDAL GROUP LTD	42,928	16,762,760	各種金融
NINE ENTERTAINMENT CO HOLDINGS	270,267	57,484,944	メディア・娯楽
SCENTRE GROUP	367,340	87,078,487	不動産
ENDEAVOUR GROUP LTD/AUSTRALIA	39,623	20,200,718	食品・生活必需品小売り
AUSNET SERVICES	183,764	38,787,660	公益事業
合計		2,120,088,235	

(注) 日付は現地基準です。

(注) リートを含みます。

2. スワップ

想定元本額	評価額
円	円
2,507,707,339	(326,002)

(注) () 書きは負数です。

T & D マネープールマザーファンド

運用報告書（全体版） 第35期（決算日 2022年6月10日）
（計算期間 2021年12月11日から2022年6月10日）

「T & D マネープールマザーファンド」は、2022年6月10日に第35期決算を行いましたので、期中の運用状況をご報告申し上げます。

◆当ファンドの仕組みは次の通りです。

信託期間	信託期間は原則無期限です。
運用方針	安定した収益の確保を目指して運用を行います。
主要運用対象	わが国の公社債および短期金融商品等を主要投資対象とします。
組入制限	株式への投資は行いません。外貨建資産への投資は行いません。

最近5期の運用実績、基準価額の推移等

最近5期の運用実績

決 算 期	基 準 価 額		債 組 入 比 率	債 先 物 比 率	純 資 産 総 額
		期 騰 落 中 率			
	円	%	%	%	百万円
31期（2020年6月10日）	10,154	△0.0	—	—	575
32期（2020年12月10日）	10,151	△0.0	—	—	430
33期（2021年6月10日）	10,148	△0.0	—	—	430
34期（2021年12月10日）	10,145	△0.0	—	—	409
35期（2022年6月10日）	10,143	△0.0	—	—	396

（注）基準価額は1万円当たり。

（注）先物比率＝買建比率－売建比率

（注）当ファンドは安定した収益の確保を目指すファンドであり、ベンチマークおよび参考指数はありません。

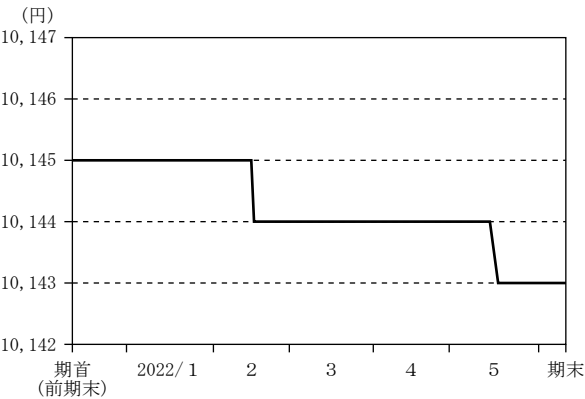
当期中の基準価額等の推移

年 月 日	基 準 価 額 騰 落 率	債券組入比率	債券先物比率
期首（前期末） 2021年12月10日	円 10,145	% —	% —
12月末	10,145	0.0	—
2022年 1 月末	10,145	0.0	—
2 月末	10,144	△0.0	—
3 月末	10,144	△0.0	—
4 月末	10,144	△0.0	—
5 月末	10,143	△0.0	—
期 末 2022年 6 月10日	10,143	△0.0	—

(注) 基準価額は1万円当たり。騰落率は期首比。
(注) 先物比率＝買建比率－売建比率
(注) 当ファンドは安定した収益の確保を目指すファンドであり、ベンチマークおよび参考指数はありません。

当期の運用状況と今後の運用方針

■ 基準価額の推移



■ 基準価額の主な変動要因

基準価額は、期首の10,145円から期末は10,143円となりました。運用対象であるコールローン等の利回りがマイナスで推移したことから下落しました。

■ 投資環境

【国内短期金融市況】

国庫短期証券3ヵ月物利回りは、期初の $\Delta 0.12\%$ から期末は $\Delta 0.10\%$ となりました。期中においては、国庫短期証券の入札に伴う需給悪化懸念などが金利上昇要因となり、日銀の買入オペや金融機関の担保需要などが金利低下要因となりました。

■ 当該投資信託のポートフォリオ

国庫短期証券の利回りがマイナスで推移したため組入れを見送り、期を通じて組入比率は0%としました。資産については、全額コールローン等で運用を行いました。

■ 当該投資信託のベンチマークとの差異

当ファンドはベンチマークおよび参考指数がないため、本項目は記載しておりません。

■ 今後の運用方針

日本経済は、国内外における新型コロナウイルスの流行の影響により、持ち直しの動きに弱さがみられます。インフレ率については、エネルギー価格の上昇等を反映してプラス圏で推移していくと予想されます。こうしたなか、日銀の「長短金利操作付き量的・質的金融緩和」が金利抑制要因として作用することから、国内金利は低位で推移すると予想します。

相対的に金利リスクの高い長期債への投資は見送り、国庫短期証券や短期金融商品等を中心とした安定的な運用を行います。

1 万口当たりの費用明細 (2021年12月11日から2022年 6 月10日まで)

当期において発生した費用はありません。

売買および取引の状況 (2021年12月11日から2022年 6 月10日まで)

当期における売買はありません。

利害関係人との取引状況等 (2021年12月11日から2022年 6 月10日まで)

当期における利害関係人との取引はありません。

(注) 利害関係人とは、投資信託及び投資法人に関する法律第11条第 1 項に規定される利害関係人です。

組入資産の明細 (2022年 6 月10日現在)

当期末における組入れはありません。

投資信託財産の構成 (2022年 6 月10日現在)

項 目	当 期 末	
	評 価 額	比 率
	千円	%
コ ー ル ・ ロ ー ン 等 、 そ の 他	396,300	100.0
投 資 信 託 財 産 総 額	396,300	100.0

(注) 評価額の単位未満は切捨て。

資産、負債、元本および基準価額ならびに損益の状況

資産、負債、元本および基準価額の状況

2022年6月10日現在

項 目	当 期 末
(A) 資 産	396,300,963円
コ ー ル ・ ロ ー ン 等	396,300,963
(B) 負 債	705
未 払 利 息	705
(C) 純 資 産 総 額 (A－B)	396,300,258
元 本	390,707,944
次 期 繰 越 損 益 金	5,592,314
(D) 受 益 権 総 口 数	390,707,944口
1万口当たり基準価額(C/D)	10,143円

- (注) 期首元本額 404,074,136円
 期中追加設定元本額 601,282円
 期中一部解約元本額 13,967,474円

(注) 1口当たり純資産額は1.0143円です。

- (注) 当マザーファンドを投資対象とする投資信託の当期末元本の内訳
- | | |
|-----------------------------------|--------------|
| T & Dインド中小型株ファンド | 69,040,591円 |
| 米国リート・プレミアムファンド（毎月分配型）円ヘッジ・コース | 1,653,709円 |
| 米国リート・プレミアムファンド（毎月分配型）通貨プレミアム・コース | 28,961,659円 |
| 米国リート・プレミアムファンド（年2回決算型）マネーボール・コース | 88,475円 |
| 豪州高配当株ツインαファンド（毎月分配型） | 9,718,980円 |
| 野村エマージング債券投信（円コース）毎月分配型 | 15,203,451円 |
| 野村エマージング債券投信（円コース）年2回決算型 | 4,690,232円 |
| 野村エマージング債券投信（米ドルコース）毎月分配型 | 6,884,550円 |
| 野村エマージング債券投信（米ドルコース）年2回決算型 | 1,424,313円 |
| 野村エマージング債券投信（豪ドルコース）毎月分配型 | 13,394,468円 |
| 野村エマージング債券投信（豪ドルコース）年2回決算型 | 1,651,239円 |
| 野村エマージング債券投信（ブラジルリアルコース）毎月分配型 | 124,252,174円 |
| 野村エマージング債券投信（ブラジルリアルコース）年2回決算型 | 7,765,966円 |
| 野村エマージング債券投信（南アフリカランドコース）毎月分配型 | 1,413,489円 |
| 野村エマージング債券投信（南アフリカランドコース）年2回決算型 | 131,726円 |
| 野村エマージング債券投信（カナダドルコース）毎月分配型 | 1,038,862円 |
| 野村エマージング債券投信（カナダドルコース）年2回決算型 | 160,506円 |
| 野村エマージング債券投信（メキシコペソコース）毎月分配型 | 43,012,339円 |
| 野村エマージング債券投信（メキシコペソコース）年2回決算型 | 7,932,323円 |
| 野村エマージング債券投信（トルコリラコース）毎月分配型 | 33,235,413円 |
| 野村エマージング債券投信（トルコリラコース）年2回決算型 | 2,464,915円 |
| 野村エマージング債券投信（金コース）毎月分配型 | 10,580,958円 |
| 野村エマージング債券投信（金コース）年2回決算型 | 5,829,793円 |
| 野村エマージング債券投信（マネーボールファンド）年2回決算型 | 177,813円 |

損益の状況

当期 自2021年12月11日 至2022年6月10日

項 目	当 期
(A) 配 当 等 収 益	△ 92,775円
受 取 利 息	2,830
支 払 利 息	△ 95,605
(B) 当 期 損 益 金 (A)	△ 92,775
(C) 前 期 繰 越 損 益 金	5,878,897
(D) 追 加 信 託 差 損 益 金	8,718
(E) 解 約 差 損 益 金	△ 202,526
(F) 合 計 (B + C + D + E)	5,592,314
次 期 繰 越 損 益 金 (F)	5,592,314

(注) 損益の状況の中で

- (D)追加信託差損益金とあるのは、信託の追加設定の際、追加設定をした価額から元本を差引いた差額分をいいます。
 (E)解約差損益金とあるのは、一部解約の際、元本から解約価額を差引いた差額分をいいます。